

## 第9回「視覚障がい者対応研修」を実施

～ 新入職員48名が受講 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、2月1日（水）、新入職員を対象に「視覚障がい者対応研修」を実施しました。

当金庫では、障がいのあるお客さまが安全で利便性の高いサービスを安心してご利用いただけるよう、さまざまな取り組みを進めています。その一環として、視覚障がい者に関する正しい知識を学び、適切な対応方法を身につけることを目的に、本研修を平成27年から毎年実施しています。

9回目を迎える今回は、3年ぶりに集合研修方式で実施しました。当日は、大阪市社会福祉協議会と大阪市福祉教育語りの会から講師を招き、日常生活で手助けが必要な場面や接し方、誘導方法のポイント等について、実演を交えた解説を受けました。続いて、当金庫事務部の職員による事務の取り扱いや、サインガイドを使用した伝票の記入方法、手話でのあいさつの仕方などの研修も実施しました。

今回の受講で得た知識を生かし、障がいのあるお客さまの心に寄り添った対応を実践し、利便性の向上に努めてまいります。

### 記

#### 1. 概要

- (1) 実施日 令和5年2月1日（水）
- (2) 受講者数 48名
- (3) 講師
  - ・社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 巽 俊朗 氏
  - ・大阪市福祉教育語りの会 鈴木 昭二 氏、山本 美恵子 氏
  - ・当金庫 事務部 職員

#### 2. 視覚障がいのあるお客さまに配慮した当金庫の主な取り組み

- (1) 視覚障がい者の代筆・代読の実施とサインガイド(自署いただく箇所がわかる型枠)の設置
- (2) 視覚障がい者対応ATMを設置
- (3) 視覚障がい者用 音声による来店案内システムを導入（一部店舗）
- (4) 点字ブロックの敷設、点字による取引記録明細、満期案内の発行等
- (5) 窓口振込手数料の引き下げ（ATM扱いと同額）



講師：山本美恵子氏（左）と  
鈴木昭二氏



講師をモデルに介助を体験する職員(左)

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

